

7月の日本語能力試験(JLPT)の合格率

N1 83%、N2 85%

タイの学生がN1満点

N1 校内ベスト3 (180点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A	Kakikawa Sena	タイ	180
2	C	権容熙	韓国	170
3	A	葉曉蓉	台湾	159

N2 校内ベスト3 (180点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A	Devina Natalia Kristin	インドネシア	176
2	A	Lilian Angelica Chandra Tan	インドネシア	164
3	D	董亭	台湾	162

7月7日に実施された2024年度第1回日本語能力試験(JLPT)の結果が8月下旬に発表されました。JETからはN1からN4まで合計79人が受験。各レベルとも合格率が80%を超える好成績でした。N1の校内トップはKakikawa Senaさん(タイ)で、JET史上8人目の満点。タイ人では初です。

N1 校内平均は134.2点

N1では18人が受験し、15人が合格しました。合格率は83.3%で、前年7月と比べると31.4ポイントも上がりました。校内平均点は134.2点で、前年7月の校内平均を26.8点上回りました。

各分野で満点(60点)だったのは、のべ5人でした。総合で満点のKakikawaさんの他に、「読解」の分野では権容熙さん(韓国)が、「聴解」では張楊帆さん(台湾)が満点でした。

N2 各分野 10人が満点

N2では33人が受験し、28人が合格しました。合格率は84.8%でした。校内平均点は116.1点でした。

分野別に得点を見ると、「言語知識」の分野で2人、「読解」で2人、「聴解」で6人、のべ10人が満点を獲得しました。「読解」と「聴解」で満点だったLilian Angelica Chandra Tanさん(インドネシア)は、前学期初級クラスから始め、9か月という短い準備期間で見事N2に合格しました。

N3で87%、N4で80%が合格

N3では23人が受験し20人が合格。合格率は87.0%でした。校内最高点は、Layla Felina Hazaniさん(インドネシア)の162点で、校内平均点は114.2点でした。N4では5人が受験し、4人が合格しました。

(日本語能力試験の合格ラインは、いずれの級も180点満点中、N1が100点、N2が90点、N3が95点、N4が90点、N5は80点です。)

★みんな集まれ！大忘年会★

12月19日、滝野川西ふれあい館にて、毎年恒例の「大忘年会」を開催しました。日本人の大学生と専門学校生4人を迎え、総勢167人が一堂に会しました。

大忘年会は、学生たちが主体となって企画するイベントです。今年も料理にゲーム、特技披露、そしてビンゴ大会と、盛りだくさんのプログラムでした。

まずは司会の8人が挨拶。乾杯の音頭を取りました。机には、サンドイッチ、ガパオ、フレンチトーストなど、各クラスの料理人が腕によりをかけて作った色とりどりの料理が並びます。「辛いものが苦手な人はこちらをどうぞ、

「豚肉は入っていません。ムスリムの方も食べられます」と、紹介から気遣いが伺えました。どれも絶品で、大学生も「大満足です!」と言ってくれました。



次は特技披露です。バンド演奏、キレのあるダンスとギター、歌など、有志の学生たちが会場に彩りを添えました。

続いてはゲームです。「言うこと一緒、やること一緒」では全員で体を動かし、会場は冬を忘れるほどの熱気に包まれました。「大風(フルーツバスケット)」では、「今週、遅刻『していない』人」など予測不能なお題が飛び出し、笑いが絶えませんでした。

最後はビンゴ大会です。今年も後援会からご支援をいただき、豪華な景品が並びました。専務理事の井上先生からはお菓子を提供していただきました。1等は東京ディズニーリゾートのペアチケットです。ビンゴが揃った人から、1~10等のくじを引きます。1等を含む上位の景品が最後の最後まで残り、大盛り上がりでした。

大いに語り、食べ、笑い、良い一年の締めくくりとなったのではないのでしょうか。各クラスのスタッフ、司会の8人、そして参加してくれた皆さん、ありがとうございました!(郷野)



前期卒業式 16名に修了証書

9月13日に日本語コース(基礎科)の前期課程が終了し、16名に修了証書が授与されました。証書は各教室にて、出張中の山口校長に代わり、前校長の井上専務理事から手渡されました。

思い出の詰まった教室で、先生方やクラスメートたちに今の思いを伝える卒業生たち。「日本語が上手になってうれしい」、「このクラスは楽しかった。みんなありがとう」、「先生、お世話になりました」など、皆思い思いに語ります。それを聞き、「こちらこそありがとう。がんばってね!」と祝福するクラスメートたち……。その場にいた全員があたたかい気持ちになるような、素敵な卒業式になりました。



↑9月に学習期間を終えた学生たち。これからの活躍を期待しています!

台湾の学生に皆勤賞

同日、皆勤賞の表彰も行われ、1年間1日も休まずに登校した湯嘉云さん(台湾)が表彰されました。湯さんには、後援会から副賞として図書カードが贈られました。



10月生 56名入学

10月2日にハイライフプラザ板橋にて入学式を行いました。10月に入学した新入生は56名です。入学式後の歓迎会には在校生も加わり、軽食をとりながら談笑したり、ゲームをしたりして親睦を深めました。

入学式の祝辞では、山口校長が、「興味が無い!ではなく、興味を持ってください。知っている!ではなく、もうちょっと深く知ろう!と思ってください。」と呼びかけました。

10月3日には進学クラス2(前期から変更なし)、日本語クラス7の計9クラス編成で授業がスタートしました。後期は台湾、香港、マカオ、韓国、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、イギリス、コスタリカ、ネパール、カンボジアといった様々な国から学生が集まっています。

就活のための特定活動ビザ申請

前期修了生のうち1名が就職活動のための特定活動ビザを取得しました。2024年度にJETで特定活動ビザを取得した卒業生は計4名になりました。(2024年12月時点)

<進学関連>

大学院志望者の研究計画発表会

12月6日、「第2回研究計画発表会」を実施しました。7月の第1回同様、進学科の大学院志望者6名が発表しました。さらに今回は、来年度に進学科へ進む大学院志望の6名の学生も聴講しました。

自身の研究計画について発表した後、9名の先生方からの質問に答えます。第1回の反省を生かし、説明をわかりやすくするため、マーケティング用の商品サンプルを持ってくる学生も。厳しい指摘も真摯に受け止め、前に進もうとする意欲が見えました。

聴講していた学生からは、発表会の後に「勉強になりました」、「難しかったです、丁寧に説明してくれたのでわかりやすかったです」などの感想が出ました。後輩たちへの良い刺激にもなったようです。

研究活動はこれから始まります。どうぞ各自の研究分野を突き進んでください。



<就職関連>

後期就職セミナー開講

後期も就職セミナーを開講しました。

まずは就活の要とも言える「分析」(自己分析、業界分析など)。今学期はパッションジャパン株式会社からCOOの三枝理枝子様を講師にお招きし、11月11日に対面で、25日にオンラインで行いました。日本における留学生の就職状況の説明を受けた後、自己PRの指導を含めた個別指導をしていただきました。

次は恒例の、奥山信也先生による面接練習と履歴書指導です。今回は12月9日と10日の2日に分けて行いました。

最終回の12月16日には「企業経営者との意見交換会」を開催しました。東京商工会議所北支部 きた経営塾から、今回は8名のゲストにお越しいただきました。社長さんと直接お話しするという滅多にない機会に、緊張していた学生たちも、だんだん笑顔になっていきます。「就職への不安が少し消えた気がします」という感想や、「わからない時はきちんと質問した方がいいのだとわかりました」、「他の学生の質問を聞くのも勉強になりました」などの気づきもあり、有意義な学びの時間となりました。



↑企業経営者との意見交換会

東洋大学との交流

2024年4月～7月、10月～12月に東洋大学健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科の萩原卓也先生の授業に参加しました。講義名は「プロジェクト演習 健康・スポーツ文化」で、前後期ともに3回ずつありました。1回目(4月24日、10月16日)は山口校長が大学生に、「日本にいる外国人」や「外国人と接すること」、「やさしい日本語」について講義。2回目(5月18日、11月9日)は大学生が考えたリクリエーションイベント。基礎科の学生約30名が交流を楽しみました。3回目(7月10日、12月18日)は、大学生のプレゼンテーションを聞いて意見交換をする授業。進学科の学生28名が加わりました。いずれも90分ほどの交流、意見交換会でしたが、留学生たちはもちろん、大学生たちの成長も見える有意義な時間となりました。進学科の学生たちは、大学の先生の講義や学食も体験させていただき、一足早く大学生活を垣間見ることができました。(山口)



🍇 秋の遠足 秩父へ 🍇

10月11日は秋の遠足。埼玉県の秩父でぶどう狩りとハイキングです。

まず、初めて訪れる横瀬の小松沢レジャー農園でぶどう狩りを楽しみました。たわわに実り熟したぶどうはまさに食べ頃。学生はこんな甘いぶどうは食べたことないと、張り切って3房食べた学生もいました。



芦ヶ久保駅までバスと電車で移動し、木の子茶屋まで約50分、快晴の中ハイキングをしました。着いた頃にはもうお腹ペコペコで、山盛りの焼肉をあっという間にたிரらげてしまいました。その後クラス対抗クイズ大会で盛り上がりました。「登山は疲れたけど、いい運動になった。お肉が美味しくて食べ応えがあった」との感想が聞かれました。

クラスの親睦も深まった遠足となりました。(石津)

学習院大学から教育実習生

今年度も学習院大学から教育実習生を受け入れました。柴崎花梨さん、庄明日香さんの2名です。実習は10月16日から27日までの2週間。初級のHクラスとIクラスでそれぞれ登壇実習を行いました。



柴崎さん(左)と、庄さん→

【実習生の感想】

●柴崎 花梨さん

2週間ありがとうございました。合計で20コマ以上の授業を見学させていただき、教師の皆さんの言葉や対応、授業の組み立て方の特徴や工夫を肌で感じ、学ぶことができました。さらに、学生たちの反応や雰囲気も体感でき、自分が授業を作っていくときの具体的なイメージを持つことができたと感じています。登壇実習で発見した自分の課題としっかり向き合いたいと思います。

●庄 明日香さん

2週間大変お世話になりました。授業のレベルによって先生の話し方や振る舞い、授業方法やクラスの雰囲気がそれぞれ異なっていて、毎日新しい発見の連続でした。先生の仕事を間近で見させていただく中で、日本語教師の難しさや大変さを感じる時もありましたが、登壇実習ではそれを上回る楽しさややりがいを感じることができました。内容の濃い、忘れられない2週間になりました。

中学生の職場体験

12月10日～12日の3日間、北区立 都の北学園から第8学年(中学2年生)2名がJETで職場体験をしました。都の北学園は2024年に開校したばかりの小中一貫校です。

「詐欺に注意！」 出前授業でCMシナリオ作成

9月4日、Cクラスでは漫才コンビの「キラーコンテンツ」といっしょにCMを作りました。これは詐欺被害防止のための啓蒙活動(東京都消費生活総合センター主催)の一環として授業で実施したもの。二人一組になった学生たちは、詐欺に至るシナリオを作り、役者になります。シナリオもいいですが、演じるのもさらに上手でした。が、「わたしはだいたいようぶ」と過信することなく、日々の生活、気をつけて!(得猪)





○文楽鑑賞教室

9月9日、学生9人と文楽鑑賞教室(新国立劇場)に行ってきました。演目は「夏祭浪花鑑」。あらすじを皆で確認してから鑑賞に臨みました。席は最前列。主人公の団七と、彼をいたぶる舅の義平次との悶着の場面では祭囃子がやみ、緊迫感が漂います。学生たちの方を見やると、最期の瞬間を見逃すまいと目を瞞っていました。団七が義平次にとどめをさすシーンで見せる「カンヌキ」(腕を左右にまっすぐ広げて立ちほだかるポーズ)、その場から一目散に逃げ出す「韋駄天」といった型を絵に収めている学生もいました。全員初めての文楽鑑賞でしたが、貴重な体験になったようです。(郷野)

○せいえん寄席

10月13日、講談と落語を聞きに北区王子の中央工学校に12名で出かけました。ここは「せいえん寄席」。席亭は北区のGodfatherこと越野理事長。「せいえん」とは渋沢栄一翁の雅号「青淵」と未来を応援したいという「声援」をかけたもの。おなじみ神田京子による講談「渋沢栄一伝」のほか、神田蘭の「津田梅子伝」(講談)、三遊亭遊雀の「死神」(落語)の豪華版。渋沢翁も講談や落語が大好きだったそうです。(得猪)



○フルート&ピアノリサイタル

11月29日夕方、佐々木真さん(写真中央)のフルート&ピアノリサイタル(ピアノは石井克典氏)に、10名の学生がゆめりあホール(大泉学園)へ出かけました。参加した学生からは、「将来ばくも音楽家になりたい。やはり生で鑑賞するのはいい」、「どちらも経験豊富なミュージシャンだけどまだ自分に挑戦し続けている感じがある」、「フルートとピアノが話している天上の音。僕は泣きそうになった」といった感想が。

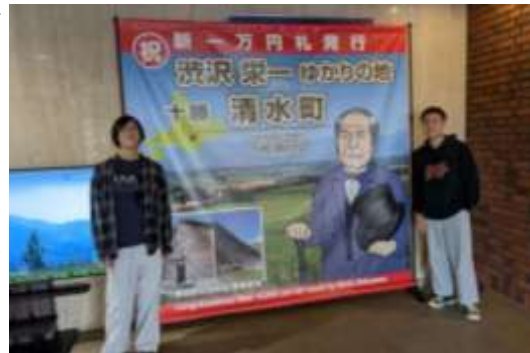
佐々木様には8月6日のフルート奏者であるユ・ユアンさんのリサイタル(浜離宮朝日ホール)にも9名のご招待をいただきました。いつもありがとうございます。(得猪)



○北海道清水町での研修旅行

9月18日から20日までの3日間、北海道十勝・清水町の研修に本校の学生2名(両名とも香港)が参加しました。本研修は、一万円札の顔となった渋沢栄一が清水町とJETがある東京都・北区に縁があることで実現したもので、今回で3回目になります。前回悪天候のため断念した、秋祭りのお手伝いをさせていただくことができ、地域の方々と交流を楽しみました。温泉に入ることもでき、充実した研修となったようです。

阿部一男町長をはじめ、清水町役場の方々には大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。(山下)



【参加した学生の感想】

●楊詠鋒さん(香港)

9月18日から20日までの3日間、北海道清水町を訪れました。この訪問を通じて、多くの貴重な経験をすることができました。

まず、1日目は帯広と清水町の名所を巡りました。幸福駅、乳牛牧場を見学し、その後、渋沢栄一と縁があるところも訪れました。夜は張闊生さんと一緒に温泉に入りました。2日目、十勝千年の森というところを訪れました。そこで清水町の美しい自然に触れ、都会では感じることでできない新鮮な空気や静けさを体験しました。自然の偉大さを改めて実感しました。夜、地元の祭りに参加させていただきました、地元の方々と交流する機会もあり、その温かさと親切さに感動させられました。

今回の訪問を通じて、自然と人々のつながりの大切さを学び、自分自身の視野が広がったと感じています。そして、清水町役所の皆様には大変お世話になりました。中でも有田さんには、私たちの旅を円滑に進めるための準備をしていただき、心から感謝申し上げます。

●張闊生さん(香港)

清水町での交流を通じて、多くの方々と出会い、自分自身も成長できました。

まず、清水町の阿部一男町長、この貴重な機会をいただきましたこと、ありがとうございます。

清水町といえば、ジンギスカンや牛とろ井、豚井などの美味しい食べ物がたくさんあるのみならず、穏やかな土地柄と、とにかく人々の温かさが印象的です。特に印象に残っているのは、清水町で9月に行われる秋祭りの際、ゲーム屋台のヘルパーとしてお手伝いをさせていただいたことです。初めてお会いした方々にも温かく迎えていただきました。親子向けの屋台ならではの雰囲気の中、皆さんが一生懸命楽しんでもらえるよう頑張っている姿に感動しました。

また機会があれば、ぜひ清水町に戻りたいと思います！

○湯河原ホームステイ文化交流

9月25日～29日、ゆがわら国際交流協会主催の「湯河原ホームステイ文化交流」に Lee Li Xuan さん(マレーシア)、Kurusarttra Kanokluk さん(タイ)、王紹玟さん(台湾)の3名が参加しました。プログラムの一環で、27日には「国際フォーラム in ゆがわら」も実施され、トークセッションでは国・地域による文化や習慣の違いなど、専門学校や日本語学校から参加した6名がそれぞれの意見を述べました。

以下は Kurusarttra Kanokluk さんの感想です。

初めてのホームステイ

Kurusarttra Kanokluk (タイ)

湯河原でホームステイは初めてなので何が起こるだろうか、どんな感じだろうか、想像できませんでした。何とか乗り越えられるだろうとわかっているけど、安心感がなかったです。

初日は緊張感もあったというより、その前から心配なことが山ほどありました。でもそこに到着した後で、湯河原の人たちが優しく話しかけてくれたので緊張感が少なくなりました。

最初の2泊は旅館に泊まって、寝室は4人用の和室で、きれいな部屋でした。朝から湯河原内を観光したり、夕飯の後で参加者と一緒に温泉に入ったりしました。楽しい時間を過ごせました。特に夜は自由な時間だから、他の留学生たちと遊ぶこともできました。

「国際フォーラム」で考え方の違いを知る

このフォーラムは一般人も参加可能なので、レポーターさんも来ました。司会者が示したお題について、各国のそれぞれの違いを話し合いました。自分の国と日本の違う点は何か、国の代表としてどう考えているのか。このコーナーのおかげで、ほかの国の考え方を知ることができたのでとても楽しかったです。しかも、中国と台湾の問題も出ました。中国人と台湾人の意見も直接聞いたので、素晴らしい経験でした。



ホストファミリーや近所の人と料理楽しむ

私のホストファミリーの名前はシズさんです。三日目の夜、ようやくシズさんの家に行きました。まずは子供たちの学校に行き、ちょっとだけ特別な授業(本棚と家を作る)を見学できました。それから、プライベート温泉に入って、緊張感が薄れて落ち着いてきました。夕飯もとても楽しかった！なぜかという、初めて自分で巻き寿司を作ったからです。好きなものを選んで自分で作るのはいつともおいしいと感じました。翌日はパーティー！近所の人と一緒にチーズフォンデュとたこ焼きを作って食べました。子供たちとお母さんたちは気軽に声をかけてくれたので、とても楽しかったです。帰る日はあまり時間がないのでワンちゃんと散歩したり、船に乗って観光したりしました。素晴らしい経験だと思っています！

北区北とぴあ演劇祭 2024

—日本人とつくるお芝居、第3弾に出た！

10月6日、北区演劇祭さくらシアター☆ラボ演劇(伊澤玲座長)『Step by Step!!!』に参加しました。インドネシア、台湾、香港、マレーシア7名の学生が出演し、50分、舞台を駆け回り、語りました。練習が始まったのは8月初め。9回の練習でセッションしながら台本を作り上げていく手法で、日本語レベルも初級から上級まで。舞台では熱い思いがことばに通り、今この一瞬、懸命に生きている姿が神々しいほど。クラスメートや先生方も応援にかけつけました。(得猪)



学 校 日 誌

【前期】

- 9月4日 出前講座(東京都消費生活総合センター) (3面)
- 9月9日 文楽鑑賞教室 (4面)
- 9月9日、12日 期末テスト(進学科)
- 9月13日 前期終了・卒業式(基礎科) (2面)
- 9月14日～15日 滝野川上町おまつり (6面)
- 9月18日～20日 北海道清水町での研修旅行 (4面)
- 9月25日～29日 湯河原ホームステイ文化交流 (5面)
- 9月30日 前期終了

【後期】

- 10月1日 プレースメントテスト
- 10月2日 入学式・新入生歓迎パーティー (1面)
- 10月3日 授業開始(基礎科)
- 10月6日 北区北とぴあ演劇祭 2024 (5面)
- 10月11日 秋の遠足 (1面)
- 10月13日 せいえん寄席 (4面)
- 10月15日～25日 教育実習(学習院大学) (3面)
- 10月16日、11月9日、12月18日 東洋大学での交流会 (3面)
- 10月18日 よむよむ会(多読会)スタート
- 10月28日 就職ガイダンス (2面)
- 11月8日 専門学校志望者へのガイダンス
- 11月10日 日本留学試験(EJU)
- 11月11日、25日 就職セミナー(自己分析等) (2面)
- 11月12日 桜川小学校との交流会 (6面)
- 11月24日 滝野川町内餅つき大会 (6面)
- 11月29日 フルーツ&ピアノリサイタル (4面)
- 12月1日 日本語能力試験(JLPT)
- 12月2日 数学・理科予備授業スタート
- 12月6日 研究計画発表会 (2面)
- 12月9日、10日 就職セミナー(履歴書・面接指導) (2面)
- 12月10日～12日 中学生の職場体験(都の北学園) (3面)
- 12月16日 企業経営者との意見交換会 (2面)
- 12月19日 大忘年会 (1面)

地域との交流活動

○町内餅つき大会

11月24日、学生たちと滝野川上町親和会主催の餅つき大会に行ってきました。

参加した7か国(台湾、香港、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、コスタリカ)15名の学生は、全員この日が初めての餅つき体験。まずは町会の皆さんにお手本を見せていただきました。力強く一定に振りおろされる杵と、合いの手の「よいしょ!」。息の合った餅つきの迫力に、学生たちは「おお…」と気圧されていました。次は学生たちの番です。「力を入れて振るのではなく、杵をそのまま落とすようにつくのがポイントですよ。」いただいたアドバイスに従い、臼の中心めがけて「えいっ」と振りおろします。はじめは「べちっ」と「ガコッ」の連発でしたが、徐々にぺったんぺったんとリズムミカルな音が聞こえてきました。(見ているときは皆さん笑顔なのですが、杵を持つと一変、鋭い眼差しに。)

お餅の一般販売が始まる前に、試食もさせていただきました。つきたてのお餅の美味しさに目を丸くする学生たち。「お米の粒感が残っていておいしい」「餡の甘さがちょうど良い」と、嬉しそうに頬張っていました。

一般販売が始まってからは、交通整理をしました。餅つき体験とお餅販売の待機列に沿って立ち、「自転車通ります!」と声掛けをします。初級クラスの学生も、大きな声で頑張ってくれました。お餅販売は大盛況で、町会の方によると、前年の倍近くお客さんが来ていたとのことでした。

初めての餅つき体験で、美味しく楽しく冬を味わうことができました。上町親和会の皆さま、ありがとうございました。(郷野)



【学生の感想】

●鄭丞傑さん(台湾)

「日本ならではの文化を肌で感じる事ができました。」

●黄焯鈴さん(香港)

「町会の皆さんが優しく、子どもたちも可愛かったです。また来年参加したいです。」

●Mark Chee Wen Jian さん(シンガポール)

「杵を初めて持ちました。交通整理も新鮮で楽しかったです。来年の学生にも参加を勧めたいです。」

○滝野川八幡宮のお祭り

9月14日、滝野川上町親和会さんのお誘いで八幡神社祭礼のお手伝いに行ってきました。JETからは5名(+グラちゃん!)の参加でした。朝は子供神輿のサポートや子供祭りの出店のお手伝い、夕方からは中神輿の担ぎ手と一日中とても忙しい一日でした。気温も高い中大変でしたが、地域の方々との交流もあり、学生は満足そうな表情をしていました。

上町親和会さんは2025年が創立100周年!また色々なイベントに参加できたらいいですね!(森山)



↑上町の法被に足袋のお祭りルックで参加しました。中央はグラちゃん!(生みの親はJETの卒業生)

桜川小学校での交流会

11月12日、Gクラスが板橋区立桜川小学校を訪れ、5年生約100名と交流会を行いました。以下、学生の感想文です。

小学生との交流で発見したこと

Mark Chee Wen Jian(シンガポール)

第一の発見は、日本人の11歳の子供は私が思ったより賢かったことです。桜川小学校に行く前、私は色々なパズルとゲームを作って印刷しておきました。作る時、そのゲームの難しさをよく考えました。周りの人にそのゲームは難しすぎると言われたからもっと簡単に直しました。でも皆の想像と全然違いました。子供達は大人の三倍速くパズルを完成してびっくりしました。やっぱり今の時代の子供を舐めない方がいいと思います。

第二の発見は、言語の翻訳をA.I.に依頼することはまだ早いということです。子供達が私に日本の伝統的なゲームを教える時パソコンでプレゼンテーションしてくれました。そのプレゼンは日本語とA.I.で翻訳した英語が書いてありました。でもメンコの説明をしてくれる時、A.I.の翻訳のせいでとても汚い英語の言葉が出てしまいました。その時私はとってもびっくりしたけど、もちろん何も言えませんでした。「やっぱりA.I.はこわいですね」と思いました。

第三の発見は、日本の子供はもっと遠慮がちだと思っていましたが違いました。大体皆さんはシンガポールの子供より賑やかでした。確かに時間は短くて1クラスぐらいの人数と交流しただけだからまだそうとは言えません。でも前より何か勉強になった感じがありました。

他にも小さい発見があって、例えば「子供達のラップトップの持ち方は面白かった」とか思ったけど、その時「これは大切な経験だから私は集中しないと」と思って楽しんで子供達と良い思い出を作ったと思います。